

2009年APFED金賞プロジェクトの事例研究:

インドの森林居住者の生活質を高めるための、侵入植物(ランタナ)の独創的な使用の促進



Federico Lopez-Casero, Policy researcher,  
Forest Conservation Project, IGES  
Shashi Kad, Director, BCIL ATF Foundation

第6回IGES環境セミナー  
(2009年度)



1. プロジェクトの背景

a) プロジェクトのスケジュール及び資金提供者

- プロジェクトの実施団体:

*Ashoka Trust for Research in Ecology and the Environment (ATREE)*

2004年:  
世界銀行の開発  
市場 (DM)によ  
る補助金

2005-2007年:  
インド政府  
生物工学局

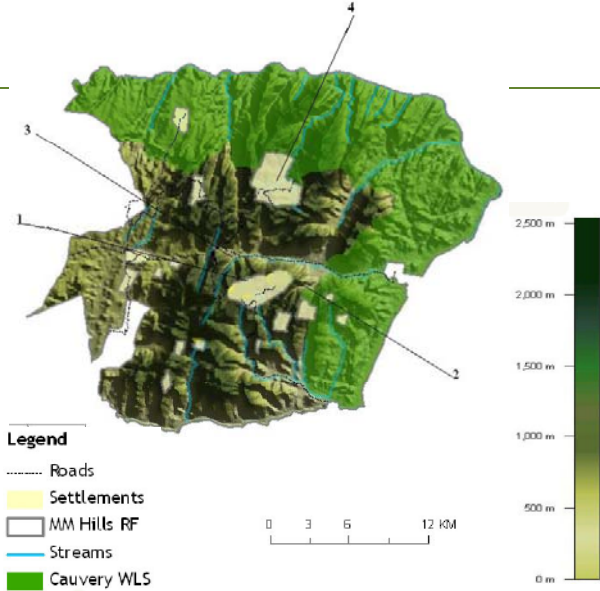
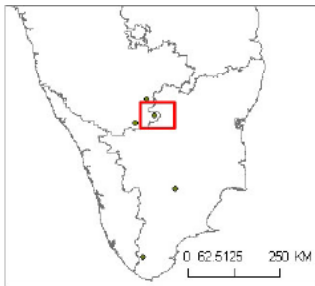
2008年:  
ブルー  
ムーン基金

2008-  
2009年:  
レインフォレ  
スト・コンサ  
ーン

- プロジェクト資金規模: 76,400米ドル

**b) 位置**

- MM Hills: 7,700 km<sup>3</sup>
- 対象の村:
  - (1) Hanne Hola
  - (2) Palar
  - (3) Konan Kere
  - (4) Ponnanchi



**c) プロジェクト実施地域の衛星画像 (Google Earth)**



### d) 環境及び社会的な問題

- **環境問題:**
  - 地域の60%がランタナで覆われている
  - 竹の持続不可能な採取
  - MM Hills地帯では、1996年にこの地区の森林局により、禁止令が発行された。
- **社会的問題:**
  - 禁止令による住民への影響
  - 近年になり、限定的に竹の採取が認められた。
  - 社会から取り残された部族の人々(Soligas)
  - 収入に占める非木材林産物(NTPF)の割合: 40%
  - 男性は石切場で働く
  - 非識字率は約90%



### e) プロジェクトの目的

- **究極の目標:**
  - a) 部族の人々の生活を支援する援助
  - b) 竹資源の枯渇問題の緩和
- **詳細な目的:**
  - ランタナを使った家具製造について、部族の職人を訓練する(竹の代替材として)
  - ランタナの製品を適切にデザインする
  - 商品の市場戦略を発展させる

## 2. 活動

### a) ランタナ家具の訓練及び開発

- 活動:
  - 訓練期間: 45日間 (基本)
  - 最初は男性のみが訓練に参加したが、後に2つの村では女性のみが訓練に参加。
  - 平均の訓練グループのサイズ: 10~15人
  - 訓練費: 50,000 ルピー
- 成果:
  - 訓練を受けた人: 女性は150人、男性は100人 (=250家族)
  - 相乗効果: 更に100家族
  - 脱落者の数: 男性が60%、女性が20%

## 森林でのランタナの回収



### 材料の準備 (1)



### 材料の準備 (2)



## 枠組の制作



## 最終段階 (製織作業、ニス塗り)



## b) 製品開発及び市場への投入手段

- **製品開発と能力構築:**
  - 研究機関との協力  
(インド、アーメダバードにある国立デザイン大学や、ヒマラヤ環境研究及び保全組織 (HESCO))
  - 実験を通じた発見 (皮の剥がし方や材料の曲げ方など)
- **市場戦略:**
  - 市場調査、消費者の購買行動に関する試験的研究
  - インド部族市場開発共同組合(TRIFED)との協力
  - 保全ラベル
  - 展示会などを開催し、地域で売却 (仲介業者を通さない)

## c) 展示会

- **地域の展示会:** (*Lantana Mela* 2005年, 2006年, 2007年)
- **カルナータカ州での展示会**
  - 環境デーでの展示会, バンガロー, 2004年, 2005年
  - *Krishi Mela*, バンガロー, 2005年, 2006年, 2007年, 2008年, 2009年:  
職人にとって注文を受けることは特に重要である。
  - *JSS Mela*, Mysore, 2006年, 2007年
- **国レベルでの展示会:**
  - 例: 2006年にバンガローで開催された「国家消費者フェア」により、ランタナ製品はさらに人気となった。



### d) 専門家によるイベントやメディアへの働きかけ

- 侵入種に関するワークショップや国際会議での発表
- 地方の言葉（ヒンディー語）での記事や英字新聞への掲載



### 3. 影響

- 経済:
  - 部族の職人が生計を立てることができるようになった。
  - 追加的な収入: 年収の増加(平均で375米ドルから675米ドルへ)
- 社会:
  - 能力構築
  - 女性の社会的地位の向上や参加
- 環境:
  - 竹の代替材料
  - ランタナの管理
  - 生物多様性の復元?

## 4. 革新的事項

- 簡単に手に入る侵入種を使用することにより枯渇資源(竹)の代替材料とする考え方
- 実施することから学ぶ
- 訓練方法の改善
- 品質基準の構築
- デザインの継続的な改良
- 新製品の開発(おもちゃ)



新たにデザインされたランタナのおもちゃ  
(ATREEにより提供)

## 5. 成功要因

- ATREEの研究経験
- インターンの貢献
- ランタナ工芸品センター
- 夫婦揃って働ける環境
- 健康保健を受ける資格  
(職人一人当たり100,000ルピー)
- 市場への直接的関与
- 研究所や政府機関とのネットワークの構築や協力
- 製品の宣伝のためにメディアを使用したこと
- 展示会での製品の発表



Krishi Mela賞 2006年,  
(ATREEにより提供)

## 6. 汎用性

- ATREE による他の2地域での汎用例:
  1. Palani Hills in Tamil Nadu
  2. Kushalnagar in Coorg district of Karnataka
- インド国内の多くの森林地帯のみならず、アジアやアフリカの熱帯・亜熱帯地域に汎用が可能。



マダガスカルからの研究チームがMM Hillsを2006年に訪れている。  
(ATREEにより提供)

## 7. 提案 (1)

- マクロ政策との関連:
  - ランタナ製品に対する税の免除 (廃棄物から制作, ランタナの管理について森林局を支援)
  - 森林や生物多様性関連政策との協調  
(例: 職人のランタナの収穫活動に考慮することなど)
- 消費者への働きかけを改善:
  - 工芸品センターを魅力的にする (看板やショールーム)
  - 販売所での製品情報のパンフレットを配布する  
(環境や社会的便益についての情報を記載)
  - 斬新な製品デザインの開発  
(籐や竹の製品の消費を避けることに繋がる)

## 提案(2)

- 交通:
  - 時間を節約し生産性を向上させるために、森林地帯から工芸品センターまでの交通を整備すること。
- 性別問題に一層注目する:
  - 女性に対して、デザインや枠組の制作への参加を促す
- フェアトレード認証や市場への拡大

ご清聴有難うございます！



<http://www.iges.or.jp/en/fc/index.html>  
[lopezcasero@iges.or.jp](mailto:lopezcasero@iges.or.jp)